

大山 治彦 (オヤマ ハルヒコ)

職 名	教授
専 門 分 野	ジェンダー研究 (男性学)、セクシュアリティ研究、家族社会学、市民活動論
学 位	学術修士
資 格	専門社会調査士、認定心理士

【主な業績等】

項目	年月	概要等
論文・学会発表等：	2009年12月	日本の男性運動のあゆみ-〈メンズリブ〉の誕生 (共) [大東貢生] <天野正子ほか編著『新編 日本のフェミニズム 12 男性学』、岩波書店、245-258 頁>
	2010年1月	ジェンダー：J.マナー/P.タッカー『性の署名』 (単) <井上俊ほか編著『社会学ベーシックス5 近代家族とジェンダー』、世界思想社、157-166 頁>
	2016年4月	現代家族とジェンダー・セクシュアリティ (単) <松信ひろみ編著『近代家族のゆらぎと新しい家族のかたち 第2版』、八千代出版、159-193 頁>
	2016年8月	“Menzuribu”: A history of Men’s movement in Japan 1970’s-1990’s (単) <Extra seminar on Masculinity studies in combination with Allmänna seminariet, Institutionen för sociologi och arbetsvetenskap, Göteborgs universitet, Göteborg, Sverige> (科学研究費 課題番号：26570018、15K01935)
	2016年10月	スウェーデンにおける同性間の結婚-わが国における制度設計のために- (単) <日本ジェンダー学会編『日本ジェンダー研究』第19号、45-61 頁>
	2018年3月	男性相談とメンズリブ (単) <濱田智崇・『男』悩みのホットライン編『男性は何をどう悩むのか』、ミネルヴァ書房、21-43 頁>
	2018年3月	男性の生き方とジェンダー (単) <愛知教育大学男女共同参画委員会編『ジェンダー教育の未来を拓く』、愛知教育大学出版会、166-178 頁>
	2018年10月	多様なセクシュアリティと、同性間の結婚、子育て (単) <日本家政学会編『現代家族を読み解く 12 章』、丸善出版、56-57 頁>

項目	年月	概要等
論文・学会発表等：	2019年4月	地方自治体における DV の男性加害者への対応の現状と課題 (単) <日本ジェンダー学会編『日本ジェンダー研究』第22号、13-25頁><日本ジェンダー学会編『日本ジェンダー研究』第19号、45-61頁> (科学研究費 課題番号:26570018、15K01935)
	2022年4月	スウェーデンの性教育のあゆみ-RFSU と義務教育を中心に (単) <季刊セクシュアリティ』106号、エイデル研究所、54-63頁> (科学研究費 課題番号:26570018、15K01935、18H00937、18K11911)
	2022年11月	男性危機(メンズクライシス)? : 国際社会の男性政策に学ぶ (共) [伊藤公雄、多賀太、大東貢生、大山治彦] <晃洋書房> (科学研究費 課題番号:26570018、15K01935、18H00937、18K11911)
	2023年4月	SOGI に敏感な視点による家族社会学へ向けて (単) <日本家族社会学会編『家族社会学研究』>第35巻第1号、49-61頁 > (科学研究費 課題番号:26570018、15K01935、18H00937、18K11911)
所属学会等：	日本社会病理学会 日本家族社会学会 日本社会福祉学会 日本社会学会 日本ジェンダー学会 日本ジェンダー学会理事	